

2021年度 首長・議員懇談会報告

みやぎ生協・コープふくしまは、宮城県、福島県的首長、宮城県議会議員、仙台市議会議員と地域のメンバー（組合員）とで年に1回懇談会を開催しています。2021年度の開催状況を報告します。

懇談一覧

	開催数 (昨年)	開催地域 (開催順)	参加者数(人)	
			生協メンバー (組合員) (昨年)	首長・議員数 (昨年)
首長懇談	31(26) 宮城 30 福島 1	(宮城県)栗原市、登米市、山元町、大和町、七ヶ宿町、大崎市、岩沼市、東松島市、富谷市、気仙沼市、涌谷町、加美町、名取市、色麻町、大衡村、松島町、美里町、大郷町、亘理町、利府町、石巻市、仙台市、大河原町、丸森町、角田市、柴田町、女川町、白石市、多賀城市、塩竈市 (福島県)白河市	133(115)	31(26)
宮城県議懇談	8(8)	加美、大崎、仙台市青葉区、遠田、仙台市泉区、太白区、若林区、宮城野区	103(89)	19(13)
仙台市議懇談	5(4)	仙台市青葉区、泉区、太白区、宮城野区、若林区	99(104)	24(25)
懇談中止による文書回答	2(6)	(宮城県)南三陸町、七ヶ浜町		
計	45(41)		335(308))	73(64)

【主な懇談内容】

宮城県仙台市 郡和子市長 1月25日 仙台市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小澤義春常務理事、
國久暁生活文化部長、職員1人

福島県白河市 圓谷光昭副市長 11月26日、白河市役所
コープふくしま 穴戸義広執行役員、高田由喜理事、
組合員3人



【包括連携協定の取り組み、家計改善支援事業の取り組み、社会的セーフティネットの取り組み】
子ども食堂への助成金が2022年度で終了予定ですが、2023年以降も継続と考えています。コロナウイルス感染症による自宅療養者等支援物品調達・梱包業務委託契約は、2023年3月末まで延長します。



【子育て支援の取り組み】
9月から福島県で始まった「すくすく箱」やココイックラブについて、市と連携できることについて懇談しました。チャラシは子ども支援課に置くことになりました。フードドライブの取り組みは社会福祉課の方がお見えになり、他団体の取り組みとは違う活動内容を理解していただきました。

〈首長懇談会〉

宮城県、福島県的首長・宮城県議・仙台市議とメンバー（組合員）が懇談し、よりよい地域づくりにつなげています。

〔主な懇談内容〕（開催月日順）

〈宮城県〉

栗原市 佐藤智市長 8月11日 栗原市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小野幸恵理事、メンバー6人



【まちづくり総合計画へのSDGsの目標の具体化】
 現在第2次総合計画の後期基本計画の策定を行っています。子育て支援や乗り合いデマンド交通の見直し、在宅介護への支援など重要課題の対応策を盛り込み、更にSDGsの視点を取り入れます。

大崎市 伊藤康志市長 10月13日 みやぎ生協古川南店
みやぎ生協 大越健治専務理事、及川しのぶ理事、メンバー14人



【ひとり親世帯の困窮の実態や市の取り組み】
 2018年度の県の調査では大崎市全世帯の3%がひとり親世帯でした。国の調査ではひとり親世帯の相対的な貧困率は48.1%となっていますので、市の各種支援事業や国の支援策が各家庭に結びつくように広く周知していきます。

登米市 熊谷盛廣市長 8月17日 登米市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小野幸恵理事、メンバー1人



【まちづくり総合計画へのSDGsの目標の具体化】
 課題は新型コロナウイルス感染症対策、自然災害に備えた対策、社会基盤整備で、重点的に取り組めます。2020年12月に第二次総合計画を改定しSDGsの多様な目標を取り入れ、目標値を設定しています。

岩沼市 菊地啓夫市長 10月14日 岩沼市役所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐々木英美理事、メンバー8人



【子どもの貧困やひとり親世帯への支援】
 課題は新型コロナウイルス感染症対策や防災減災対策、デジタル化などで、特にコロナ禍により子育て支援や高齢者の健康対策が出来ていません。子どもの貧困やひとり親世帯への支援は社会福祉協議会と連携し学習支援を行っています。

山元町 菅野寛俊副町長 9月30日 山元町役場
みやぎ生協 佐々木英美理事、池町江美子生活文化部課長、メンバー8人



【高齢化率が高く高齢者の単身世帯も多い課題への取り組み】
 高齢化率は41.2%で、現在高齢者福祉の見直しをしています。以前は生活支援員が高齢者家庭に訪問し見守りをしていたが、コロナ禍での訪問が難しい状況です。今後は包括支援センターを宮城病院に委託し、連携を取りながら支援していきます。

東松島市 渥美巖市長 10月22日 みやぎ生協東松島ハーモニー
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐藤ひで子理事、メンバー6人



【災害に強いまちづくりの取り組み】
 震災からの心のケアや子育て環境の充実、高齢者・障がい者への支援や健康づくりが重点計画です。災害に強いまちづくりは防災組織の充実や災害弱者への取り組み、さらにコロナ禍に対応した避難所運営に取り組んでいます。

大和町 浅野喜高副町長 10月5日 みやぎ生協大富店
みやぎ生協 大越健治専務理事、信山澄重理事、メンバー5人



【公共交通や高齢者支援、子どもの貧困への支援】
 町民バス以外にも登録制のデマンドタクシーを運行しています。高齢者支援は福祉事業の取り組みの他、75歳以上の福祉タクシーの助成があります。町独自の取り組みとしてひとり親家庭にお米10キロを配布する予定です。

富谷市 若生裕俊市長 10月25日 みやぎ生協明石台店
みやぎ生協 大越健治専務理事、信山澄重理事、メンバー6人



【子どもにやさしいまちづくりの取り組み】
 「住みたくあるまち日本」を目指し、公共交通・アクセス向上、医療体制の充実が重要課題です。子どもの意見を市政に生かす取り組みや、子どもが市の活動に参加することでまちづくりに生かされるなど、子どもの尊厳を重視した取り組みを行っています。

七ヶ宿町 小関幸一町長 10月12日 七ヶ宿町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、職員3人



【町の人口増に対する取り組み】
 一昨年の懇談会を機に「こ〜ぶの森七ヶ宿」ができることになり「七ヶ宿町有林分収造林契約締結式」が行われました。町の重要課題は若者の移住、定住、就労支援など人口増の取り組みです。また観光対策としてキャンプ場の増設やイベントの開催を計画しています。

気仙沼市 菅原茂市長 10月26日 気仙沼市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、小野幸恵理事、メンバー5人



【ひとり親世帯や子どもの貧困の実態とその支援】
 子どもの貧困の実態は見えにくく捉えづらいことから、実態調査を実施し分析を進めています。またひとり親世帯に特化した実態調査も行う予定です。国の支援事業のほか市独自の「誕生祝金支給事業」も実施、ひとり親世帯への経済的支援も行っています。

涌谷町 遠藤釈雄町長 10月26日 涌谷町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、及川しのぶ理事、メンバー3人



【人口減少に対する取り組み】
 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができる生活支援や体制整備に取り組んでいます。人口減少の取り組みは、子ども家庭総合支援拠点を整備し、安心して子育てできる支援策や若年層定着のための雇用創出を進めています。

松島町 熊谷清一副町長 11月24日 松島町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー2人



【高齢者への就労支援を含めた支援や取り組み】
 シルバー人材センター事業に補助金を交付し、高齢者の就労を支援しています。介護予防事業である地域サロン活動は少しずつ活動を再開し、コーディネーターが各地区を回り再開を支援しています。地域のつながりを重視した事業に力を入れています。

加美町 猪股洋文町長 11月2日 加美町役場
みやぎ生協 大越健治専務理事、及川しのぶ理事、メンバー3人



【ひとり親世帯や子どもの貧困への支援】
 子どもの貧困の取り組みとして、国の支援のほかNPOによる学習支援を行っています。2021年4月に子育て包括支援センター及び子育て支援係を設置し、母子健康事業と連携し妊娠時から切れ目のない支援を目指しています。

美里町 相澤清一町長 11月25日 美里町役場
みやぎ生協 及川しのぶ理事、國久暁生活文化部長、メンバー3人



【コロナ禍における大規模自然災害に対する取り組みや、ひとり暮らし高齢者に対する食生活支援】
 コロナ禍での円滑な避難所運営に向けたマニュアルの作成や訓練の実施、分散避難のための町外施設使用の協議を進めています。高齢者の食生活は食事作りや買い物等が難しくなり乱れてくるため、保健師や栄養士の指導や配食サービス事業の利用相談を行っています。

名取市 山田司郎市長 11月5日 名取市役所
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐々木英美理事、吉原直美理事、メンバー11人



【ひとり親世帯や子どもの貧困への支援】
 課題は防災減災対策の強化、包括的な支援体制づくり、人権・いのちを守る取り組み、医療体制の強化、移動手段の確保・買い物支援です。子育て世帯やひとり親世帯への支援は、国の事業の他に「出産祝い商品券支給事業」があります。

大郷町 田中学町長 12月10日 大郷町役場
みやぎ生協 渡邊弘美理事、國久暁生活文化部長、メンバー3人



【まちづくりの計画へのSDGsの目標の具体化】
 『「自力」一人ひとりが考え行動し未来を創るまちづくり』を基本理念に長期総合計画を進めています。その計画にSDGsの目標は結び付けていませんが、施策はその考え方に沿って進めています。

色麻町 山吹昭典副町長 11月11日 色麻町役場
みやぎ生協 及川しのぶ理事、國久暁生活文化部長、メンバー3人



【ひとり親世帯や子どもの貧困の現状や取り組み、子どもや女性のまちづくりへの参画】
 子育て世帯からの経済的な相談や、就学援助制度の利用家庭が増加しています。関係機関と連携し対応しています。まちづくり推進に女性が活躍しやすい環境整備を行い、女性参画機会を拡大し男女共同参画の推進を目指します。

亘理町 山田周伸町長 12月15日 亘理町役場
みやぎ生協 佐々木英美理事、國久暁生活文化部長、メンバー4人



【町の計画や高齢者の通院や買い物支援】
 人口減少社会の到来を見据え、交流人口拡大や地域経済の活性化事業を重要課題としています。また亘理駅のバリアフリー化や防災減災の取り組み、公園整備を進めています。「高齢者買物支援協力店」の登録や福祉車両の貸し出しなどの高齢者支援を進めています。

大衡村 早坂勝伸副村長 11月15日 大衡村役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、信山澄重理事、メンバー1人



【村の計画やバイオマスタウン構想、まちづくりへのSDGsの目標の具体化】
 市街地整備や公営塾開設事業、デマンド型交通の本格運行を目指しています。まちづくりの総合計画にSDGsとの結びつけは行っていないが、その考え方を活用し施策を展開していく必要があると考えています。

利府町 熊谷大町長 12月16日 利府町役場
みやぎ生協 石垣八重美理事、渡邊弘美理事、國久暁生活文化部長、メンバー5人



【町の計画や不登校児の居場所づくりや支援】
 利府町文化交流センターの開館で町の拠点ができたので、今後は市への移行を視野に文化事業に力を入れています。不登校児への支援として「心のケアハウス」の設置や利府第三小学校に「学び支援教室」の開設、校内に居場所を作り学習指導と自立支援を行っています。

※首長名とみやぎ生協参加者名は懇談時点のものです。

石巻市 齋藤正美市長 1月11日 石巻市役所
みやぎ生協 佐藤ひで子理事、メンバー7人



【安心してらせるまちづくりに対する新市長の方針や施策】
災害に強いまちづくりを進めます。大雨等の自然災害から市民を守り、雨水排水施設の整備を推進します。また、人口減少対策と地域コミュニティの強化に取り組み、若い世代の定住に向けた積極的な移住促進策を行っていきます。

女川町 須田善明町長 2月21日 女川町役場
みやぎ生協 佐藤ひで子理事、池町江美子生活文化部課長、メンバー1人



【子どもの貧困やひとり親世帯の困窮の実態や支援】
子どもの貧困に特化した施策は行っていません。ひとり親に対する支援は母子家庭及び父子家庭福祉対策資金貸付を実施していますが、実績は0件です。コロナ禍による収入減の世帯による緊急一時的な生活資金の貸付件数は増加しています。

大河原町 齋清志町長 2月7日 大河原町役場所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐藤由紀理事、メンバー3人



【子どもの貧困やひとり親世帯の困窮の実態や支援】
ひとり親世帯に関し、生活の実態把握を行っているところです。町の独自支援として「ひとり親家庭生活支援給付金」を支給。また「子どもの貧困対策事業」も実施しています。

白石市 山田裕一市長 3月10日 白石市役所所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐藤由紀理事、メンバー2人



【ひとり親世帯の困窮の実態や支援】
ひとり親世帯のうち、児童扶養手当の支給世帯は302世帯あります。市独自の支援として、基本的な学力向上や受験対策などの学習サポートを行い、教育の機会や安心できる場所の提供を行っています。

丸森町 佐々木秀之副町長 2月10日 丸森町役場場
みやぎ生協 大越健治専務理事、佐藤由紀理事、メンバー3人



【町の計画や子どもの貧困やひとり親世帯の困窮の実態や支援】
2019年東日本台風からの復興・復興や被災者支援に引き続き取り組みます。ひとり親世帯の貧困は関連する部署が連携し把握に努めています。子育て世帯の独自支援として18歳までの子どもに医療費助成や第2子以降保育料無料化事業を実施しています。

多賀城市 深谷晃祐市長 3月15日 多賀城市役所
みやぎ生協 小澤義春常務理事、渡邊弘美理事、メンバー3人



【待機児童減少に対する施策などの子育て支援】
2021年度に新たに保育所を作ったので待機児童は大幅に減ると思います。DVや虐待など家庭内の暴力の通報があっても、個人情報保護法の壁で解決しにくい状況になっています。この問題は行政だけでなく他団体との連携で進めていかなければいけないと思います。

角田市 黒須貴市長 2月14日 角田市役所
みやぎ生協 佐藤由紀理事、池町江美子生活文化部課長、メンバー3人



【子どもの貧困やひとり親世帯の困窮の実態や支援】
子どもが生まれる前からひとり親になる家庭が増えています。母子手帳交付時に支援プランを提示し、子どもが大きくなるまでサポートします。小児科・産婦人科オンライン相談システムも導入し24時間対応するなど、ひとりひとりに寄り添った支援を行っています。

塩釜市 佐藤光樹市長 3月15日 塩釜栄町店
みやぎ生協 大越健治専務理事、渡邊弘美理事、メンバー4人



【総合計画におけるSDGsの目標を踏まえた計画の具体化】
総合計画にSDGsは数値化し、方針もそれに沿って具体化しています。市との協働の取り組みとして、連携してフードドライブの実施ができないか今後検討していきます。

柴田町 滝口茂町長 2月18日 柴田町役場
みやぎ生協 小澤義春常務理事、佐藤由紀理事、メンバー3人



【子どもの貧困やひとり親世帯の困窮の実態や支援】
ひとり親世帯への町独自の取り組みとして、児童扶養手当の支給世帯へ臨時給付金事業を行いました。また原油等の高騰などにより経済的な影響を受けていることから、2023年度も給付予定です。他にも就学援助制度や家計給付支援金を給付しています。

〈文書回答〉
南三陸町 佐藤仁町長

【ひとり親世帯や子どもの貧困の現状や施策】
子ども・子育て支援事業計画の見直しに合わせ、調査による現状の把握を実施し、子どもの貧困対策に係る計画の策定及び支援策の検討を進めます。

七ヶ浜町 寺澤薫町長

【高齢者福祉計画にある支えあうための見守りの具体的計画】
2021年度より地域見守り支援員を配置し、避難行動要支援者名簿にある方で介護認定を受けていない方を中心とした見守り体制に取り組んでいます。

〈宮城県議会議員懇談会〉

加美

12月24日 加美やくらい文化センター

高橋啓議員

みやぎ生協

及川しのぶ理事、メンバー9人



【ひとり親世帯の貧困の実態と支援】

2018年の調査では宮城県の母子世帯における年間収入300万円以下は44.8%と半数近くを占めます。父子世帯でも21.2%と一定割合存在します。保育所への優遇措置や就業支援のほか、自立への経済的支援があります。

仙台市泉区

1月18日 みやぎ生協黒松店

伊藤和博議員、小畑さみ子議員、庄田圭佑議員

みやぎ生協

齊藤秋花理事、反畑明実理事、信山澄重理事、メンバー10人



【4病院の再編移転】

黒川地区には災害拠点病院がなく、大きな災害時に病院の空白エリアを作てはいけないということも検討課題にのぼっています。病院と連携してきた老人施設などもあり、移転によってどうなるのかなど議論すべきことは非常に多いです。

大崎

1月12日 みやぎ生協古川南店

菊地恵一議員、佐々木賢司議員、佐藤仁一議員

みやぎ生協

及川しのぶ理事、メンバー11人



【子どもの貧困に対する支援】

国や県では各種支援制度がありますが、一方子どもの居場所である子ども食堂も大きな役割があります。2021年8月に県では「子どもの食緊急支援事業」を始め、子ども食堂への支援を行っています。

仙台市太白区

1月24日 カメイアリーナ仙台

岸田清実議員、わたなべ拓議員

みやぎ生協

藤本富江理事、吉原直美理事、メンバー39人



【不登校児の支援】

学校に戻すという考えではなく「学びの場の多様化」としての居場所づくりが重要です。フリースクールは公の教育と位置付けられていないので助成などの支援がなく、県の職員の派遣などを行っています。また、不登校児を生まない未然防止の取り組みも行われています。

仙台市青葉区

1月13日 みやぎ生協柏木店

金田もとる議員、菅間進議員、ゆさみゆき議員

みやぎ生協

石川宣子理事、齊藤秋花理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、メンバー10人



【4病院の再編移転やコロナ禍におけるかかりつけ医の役割など地域医療の施策】

病院の再編と新設は施設の老朽化と高度医療の見直しですが、職員の雇用の問題もありもっと議論が必要です。今後の地域医療のあり方も含めた議論にしていける必要があります。

仙台市若林区

3月23日 みやぎ生協荒井店

福島かずえ議員、三浦ななみ議員、渡辺勝幸議員

みやぎ生協

松木弥恵理事、メンバー9人



【ウイズコロナにおけるコミュニティづくりなど】

コロナ禍によるストレス等を抱えている人は多いので、いつもと違う居場所や登録制ではない放課後の居場所などが必要です。生活保護受給者が増えていますが、今の福祉制度は人権を保護する対策にはなっていないので変えていく必要があります。

遠田

1月17日 美里町駅東地域交流センター

佐々木功悦議員

みやぎ生協

及川しのぶ理事、メンバー7人



【県の保健所の再編】

大崎市と石巻市の保健所を拡大し、栗原市と登米市は支所を設置する計画があります。コロナ禍により業務が逼迫している今、組織の再編は地域の住民の不利益になると思われるので多くの議論を有するべきです。

仙台市宮城野区

4月5日 みやぎ生協榴岡店

大内真理議員、佐々木奈津江議員

みやぎ生協

石垣八重美理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、松木弥恵理事、メンバー8人



【ウイズコロナにおける子ども食堂支援や子育て支援】

子ども食堂の運営に対する県の助成はバトリー活動としての配送代などに充てられています。支援窓口をワンストップにしていけます。知事が打ち出した新年度の「宮城の未来を育むハートフル予算」の規模は小さいので、議会として増額を求め、孤立しない人間関係の支援制度を作りたいです。

〈仙台市議会議員懇談会〉

青葉区(4人)

1月13日 みやぎ生協柏木店

佐藤わか子議員、すげの直子議員、ひぐちのりこ議員、村上かずひこ議員

みやぎ生協

石川宣子理事、齊藤秋花理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、メンバー11人



【4病院の統合や移転やかかりつけ医の役割と強化】この問題は宮城県全体の医療をどうするかの中で検討されていますが、仙台市として地域医療をどう進めていくか県と議論すべきです。みやぎ生協が自宅療養者へ支援物品を調達していることに対し、感謝の言葉がありました。

宮城野区(4人)

3月15日 みやぎ生協高砂駅前店

高見のり子議員、田村勝議員、山下純議員、渡辺敬信議員

みやぎ生協

石垣八重美理事、佐藤淑子理事、反畑明実理事、松木弥恵理事、メンバー11人



【震災後のコミュニティ防災や子どもの貧困】震災後11年経過し、復興公営住宅に入居している高齢者への見守りはコロナ禍により減少しており、亡くなってから10日間も気付かれませんでした。コロナ禍による休校で給食がなくなったことにより、学校給食で一日の栄養を取っている子どもがいることが明るみに出ました。考えていかなければならない問題です。

太白区(6人)

1月17日 カメイアリーナ仙台

嵯峨サダ子議員、佐々木心議員、佐藤和子議員、鈴木広康議員、高村直也議員、千葉修平議員

みやぎ生協

藤本富江理事、吉原直美理事、メンバー54人



【不登校への取り組みや地域の居場所づくりの取り組み】民間との連携として、不登校特例校の設置を進めています。子どもの特性を生かし社会的自立を目指します。地域の居場所づくりとして児童館があるが、対象年齢が拡大したことにより定員を超えたところがあります。現在はサテライト会場を使用していますが、環境設備が完全ではないので新たに増やすよう取り組んでいきます。

若林区(6人)

3月16日 みやぎ生協荒井店

猪又隆広議員、菊地崇良議員、佐藤正昭議員、庄司あかり議員、鈴木すみえ議員、竹中栄雄議員

みやぎ生協

松木弥恵理事、メンバー8人



【ウイズコロナにおけるコミュニティづくり】孤立死の定義もまだできていないのが現状です。サポート窓口をワンストップでわかりやすく周知します。子育て支援としてこども版包括支援センターの設立を提案します。また、交通難民が増加しているので、コミュニティバスを早期に始めたいと思います。

泉区(4人)

1月27日 みやぎ生協黒松店

安孫子雅浩議員、石川建治議員、ふるくぼ和子議員

みやぎ生協

齊藤秋花理事、反畑明実理事、信山澄重理事、メンバー15人



【4病院の統合やウイズコロナの学校教育】仙台市の医療が後退しかねないので、市議会でも県に対し意見を出そうと検討しています。コロナ後はタブレットを使用した情報教育が推進されますが、子どもの自己肯定感を育みコミュニケーション能力を高めることが市の教育行政であるべきと思っています。

2021年度首長・議員懇談会のまとめ

1. 宮城ではオミクロン株の感染拡大により、予定していた2自治体(南三陸町、七ヶ浜町)が中止になりましたが、店舗のある自治体すべてで開催することができました。福島では予定していた2自治体(桑折町、新地町)が3月の地震の影響により次年度に延期となり、1自治体の開催となりました。
2. 懇談を機に七ヶ宿町に14番目のこ〜ぶの森ができることになり「七ヶ宿町有林分収造林契約締結式」が行われました。今後は町と協力しながら、自然や森を豊かにする活動を進めます。
3. 昨年度の懇談会で提案された協働の取り組みとして、亶理町と山元町でせいきょう便が運行されることになり、改めて懇談会で報告しました。今後は町と連携してせいきょう便の販売場所を増やしていきます。
4. 宮城では自治体毎の課題で懇談できるように、4月に「相手を知って応えるためにかぞえる・くらべる・たずねるー生協のためのマーケティングの基礎ー」、5月に「宮城県の人間の安全保障指標」について学習し、首長・議員懇談会用のMYシートを作成しました。そのシートを基に懇談テーマを検討し、当日の懇談会でも使用しました。
5. 県議懇談会は昨年度より開催選挙区は増えませんでした。国会議員との懇談もコロナ禍での開催が難しく2年続けて開催できませんでした。
6. 福島県では10市町村(棚倉町、川俣町、三春町、塙町、鮫川村、矢吹町、新地町、浪江町、飯舘村、須賀川市)と「地域の見守りの取り組みに関する協定」を締結しました。

宮城県での懇談テーマ

「誰もが安心してらせる地域づくり」をテーマの中心において、一緒にくらしやすいまちづくりをみんなで考えます。みやぎ生協の活動を伝え、地域で共に取り組めること、くらしの向上のために連携できることを話し合います。

1. 「誰もが安心してらせる地域づくり」のために、自治体に取り組んでいる計画や重要課題について首長からお話を伺います。また、各自治体毎の課題について懇談します。
2. ウイズコロナにおけるコミュニティ作り等への支援や家庭内暴力に対する自治体の取り組みを伺います。
3. 「誰もが安心してらせる地域づくり」のために、自分の住むまちの良いところや地域で多くの人が困っている現状や、解決して欲しい要望を伝え、自治体と一緒に力を合わせて取り組むことなどを話し合います。

COOP

みやぎ生協・コープふくしま